

経営比較分析表（令和4年度決算）

愛知県名古屋市 緑市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	21	対象	ド訓ガ	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
2,294,854	16,675	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
284	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	284
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
105	-	105

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の役割・ネットワークを含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

地域密着型の総合的な病院として、救急搬送受入体制の強化やリハビリテーションの機能強化、地域包括ケア病棟を運営するなど地域の医療ニーズに合わせた医療を提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②医業収支比率、③修正医業収支比率及び④病床利用率は、類似病院平均値を下回った。令和5年4月の名古屋市立大学医学部附属病院化に向けた円滑な移行を図るための施設の改修等に伴い、入院患者数や医業収益が減少するとともに、附属病院化に向けた準備経費や施設の改修経費を計上したことにより各指標が悪化した。

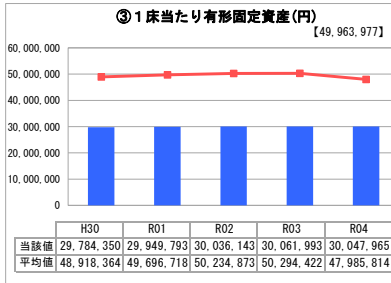
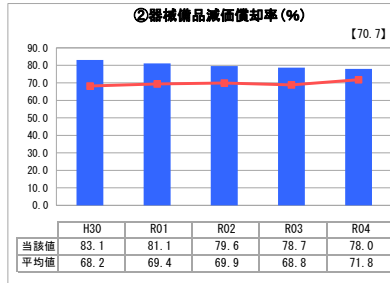
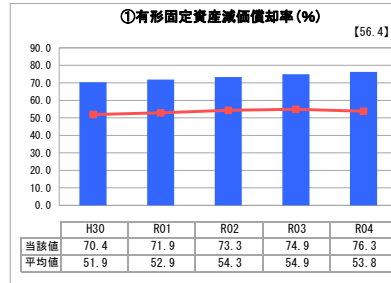
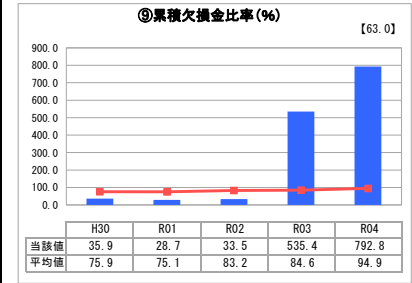
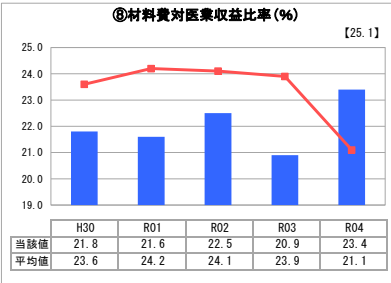
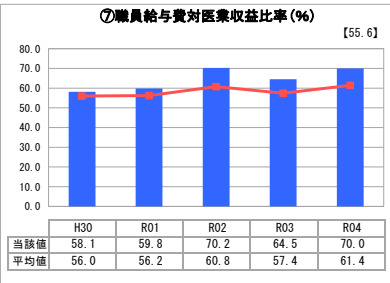
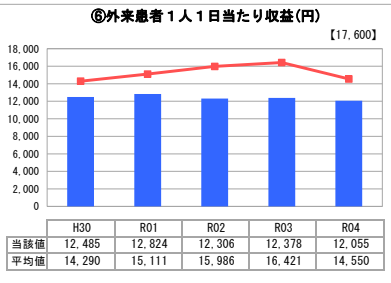
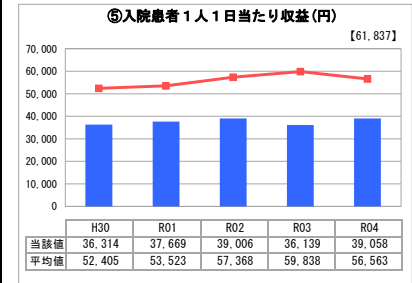
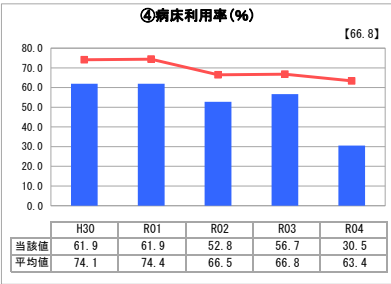
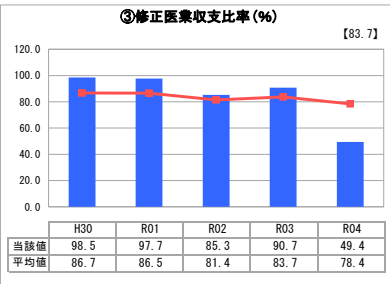
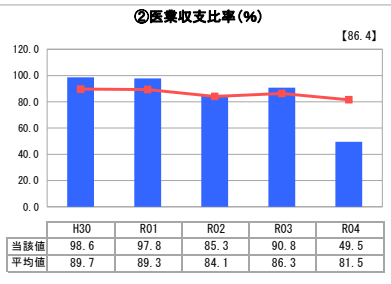
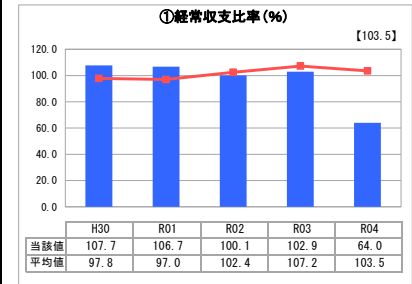
2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率及び②器械備品減価償却率は、類似病院平均値を上回っている。

全体総括

市立病院として地域密着型の総合的な病院の役割を継続し、二次救急医療の実施、地域のニーズを踏まえた特色ある医療を実施するとともに、災害発生時の市域防災計画における災害医療活動拠点としての役割を担っていた。
なお、令和5年4月に名古屋市立大学医学部附属病院化している。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。